

「山の日」記念 第38回夏休み木工教室開催 ～コミックブックスタンド作り～

令和6年8月7日(水)、和歌山森林管理署主催・近畿農政局和歌山県拠点、和歌山県西牟婁振興局林務課及びOF会の協力により夏休み木工教室を和歌山森林管理署会議室で開催しました。

当日は真夏の暑い中、近隣の小学校5～6年生17名が参加しました。

この木工教室は、夏休みの思い出や宿題を兼ね、子どもたちに木に親しんでもらう目的で毎年開催し、今回で38回目を迎えました。

作品作りに先立ち、主催者及び近畿農政局和歌山県拠点中根参事官からの挨拶の後、安全に作れるよう担当職員から道具使い方などの注意事項と作り方の説明を聞き、今回の作品である「コミックブックスタンド」の制作に取りかかりました。

木工教室ではスタッフのサポートを受けながら、それぞれの材料に鉛筆で墨入れを行い、ノコギリで板材を切っていました。

曲尺(かねじゃく)やノコギリを使ったことがない子供がほとんどで、鉛筆での墨入れも多く、切ることが難しい箇所もありましたが、上手に切れると笑顔がこぼれ、切った材料はヤスリを使って、きれいにしていきます。

午後からの森林教室では、木の葉の特徴などについて説明や実際の木の葉の香りを匂うなど、木の特徴を体感しました。

最後に、ドライバーを使いビスで組み立てて完成です。

子供たちは、「ノコギリで切るのが難しかった」「キリで穴をあけるのが大変だった」「紙ヤスリで磨くとすべすべになる」「優しく教えてもらったので、ブックスタンドがうまく完成できた」などと言いながら、最後までヤスリで磨いてきれいにしていました。

作成中、紀伊民報の取材もあり、この活動の様子が多方面に知ってもらえる機会になりました。

最後に完成した作品を持って集合写真を撮り、笑顔で楽しい1日を過ごしました。

当署では、地域の子どもたちが木のことを知る機会を提供し、少しでも森林・林業に関心をもって理解を深めてもらうために、今後もこのイベントを継続していきたいと思っております。



曲尺（かねじゃく）を使って鉛筆で材料に墨入れしています。



鉛筆で書いた線をノコギリで切断します。（汗）



午後のひと時、森林教室で勉強しています。



組立のためにねじ穴をキリで掘り掘り。



完成した作品を持って、全員で記念撮影。